

香童の柊

No. 8

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年6月21日

文責：校長 廣田 昌英

すごいぞ！稲葉の子ども達

校長室にいと、ときどき家庭科室から賑やかな声が聞こえてきます。そんなときは決まって調理実習。楽しいですよ。私もつい興味半分で覗いちゃいます。そしていつも感心しちゃいます。ここでも遊んでいる子がないんです。普通はいるんですけどね。作業に参加しないで食材の切れ端で遊んじゃう子が1人くらい。

そういえば先月末のプール開き、運動委員の子ども達が立派に仕切ってくれました。「先生が作った台本通りなのかな？」と思ったのですが、高山宜之先生から、全て運動委員会の子が作った台本であること、委員長が自分から「僕があいさつするんですよ」という発言まであったことを聞き、感心しちゃいました。

稲葉の子ども達の主体性、すごいです。

大人が手本を！

集会で子ども達に、「相手の顔を見て、ニコッと朝のあいさつをしましょう。そして、みんなで幸せな気持ちになりましょう」とお願いをしました。保護者の皆さん、出番ですよ！協力して子ども達を幸せにしましょうよ！

花のある風景

4月に本校に赴任して以来、校長室のテーブルの上には常に生花が飾ってありました。入学式で使った生花から始まって、（絶対）チューリップ、（たぶん）デイジー、（おそらく）アヤメ、（教えてもらった）ラベンダー、バラなど、途切れることがあります。今はアジサイが生けてあります（6/14現在）。持参して飾っているのは青柳智美教頭先生です。

教頭先生は全校児童が取り組むグリーン

タイムに先駆け、職員玄関付近のパンジー等の処分も一人でやってくださいました。それこそ土だらけ、大変な作業です。でも、教頭先生は「私、こういうの好きなんです」って言うのです。再び聞きましたこの台詞！用務員の高村さんと同じ台詞です。本校には趣味と実益を兼ねたありがたいお方が何人いるのでしょうか？

校長室、玄関付近、花のある風景っていいですよ。でも、途切れることのないきれいな花の陰には、土まみれになって世話をしてくれた方々がいるんです。私達は感謝の気持ちを途切らせないよう心がけないといけませんね。

田植え

お天気についてはまったくツキに見放されている、自称「雨女」の野中先生が計画を立ててくれました。

なので、予想では雨天中止になるはずだったのですが、6月6日（火）は晴天に恵まれ、無事に実施することができました。

渡辺好充様の御指導のもと、1、2年生から始めました。裸足になり、恐る恐る慎重に田んぼに入る子ども。いきなり両足ジャンプで入る子ども（危ないだろ！）。汚れないように、股のあたりまで半ズボンをめくり上げる子。半ズボンが田んぼに浸かってもまったく気にしない子（誰が洗濯すると思ってんだ！）。指示を待って規則正しく植える子。手当たり次第に自分のまわりにランダムに植えちゃう子（自由過ぎるだろ！）。一人一人様々です。でも、これってみんな長所なのかも知れませんね。

大人は子どもの短所を直すことばかり考えがちですが、長所を見つけてじっくり見つめてあげること、そして認めて伸ばしてあげること、これも大切なんですよ。